



からす ^{ひとえ} に ^あ わ ^{ない}
鳥に単は似合

阿部智里

八咫鳥と人間、両方の姿を持つ者たちが住む異界、“山内”

ある春、四人の美しい姫が
次の帝となる若宮の寵愛を勝ち取るべく、“桜花宮”に登殿した

しかし、肝心の若宮は一向に現れず
不可解な事件が桜花宮で起こり始める……

冒頭の華やかな雰囲気から一転、
ミステリーのような展開、大どんでん返しの結末、

読み終わる頃には、この本の虜になってしまうこと間違い無し!

果たして、最後に若宮が選ぶのは……!?